

資料のちらばりと代表値

氏名

下の表は、中学生5人のハンドボールの記録である。(1)~(3)の問題に答えなさい。

26	44	33	33	24	(m)
----	----	----	----	----	-----

(1) 上の表の記録の最頻値を求めなさい。

(2) 上の表の記録の平均値を求めなさい。

(3) 上の表の記録の中央値を求めなさい。

(4) 下の表は、中学生6人のハンドボール投げの記録である。この6人の記録の中央値を求めなさい。

名前	キミエ	マサユキ	ミサト	ヒロト	サユリ	トモユキ
記録(m)	26	45	30	37	21	39

(5) 下の資料は、体カテストでハンドボール投げを行ったときの9人の記録である。  
この9人の記録の中央値を答えなさい。

30	39	28	20	37	25	26	26	26	(m)
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

(6) 下の表は、ある学級のハンドボール投げの記録を度数分布表に整理したものです。  
度数が最も多い階級の相対度数を求めなさい。

階級(m)	度数(人)
以上 未満	
10 ~ 15	1
15 ~ 20	2
20 ~ 25	8
25 ~ 30	5
30 ~ 35	3
35 ~ 40	1
計	20

解答

- (1) 33 m            (2) 32 m            (3) 33 m  
 (4) 33.5 m        (5) 26 m            (6) 0.4

資料のちらばりと代表値(解説)

氏名

下の表は、中学生5人のハンドボールの記録である。(1)~(3)の問題に答えなさい。

26	44	33	33	24	(m)
----	----	----	----	----	-----

- (1) 上の表の記録の最頻値を求めなさい。一番多くある記録⇒ 33 が2個で一番。最頻値 33
- (2) 上の表の記録の平均値を求めなさい。平均値→ 5つの記録の和 ÷ 記録の個数(5)  
 $( 26 + 44 + 33 + 33 + 24 ) \div 5 = 160 \div 5 = 32$
- (3) 上の表の記録の中央値を求めなさい。  
 中央値→記録を順番に並べたとき、真ん中にある値のこ大きい順・小さい順どちらでもよい。  
 小さい順に並べると 24 26 33 33 44 よって 33
- (4) 下の表は、中学生6人のハンドボール投げの記録である。この6人の記録の中央値を求めなさい。

名前	キミエ	マサユキ	ミサト	ヒロト	サユリ	トモユキ
記録(m)	26	45	30	37	21	39

小さい順に並べると 21 26 30 37 39 45 中央は2つある  
 偶数個の時、真ん中の2数の平均が中央値、 $( 30 + 37 ) \div 2 = 33.5$

- (5) 下の資料は、体力テストでハンドボール投げを行ったときの9人の記録である。  
 この9人の記録の中央値を答えなさい。

30	39	28	20	37	25	26	26	26	(m)
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

小さい順に並べる。9個中5番目の値が中央値。  
 奇数個の時は真ん中は1つしかないのて、そのまま答えればしたがって、 26

- (6) 下の表は、ある学級のハンドボール投げの記録を度数分布表に整理したものです。  
 度数が最も多い階級の相対度数を求めなさい。

階級(m)		度数(人)
以上	未満	
10 ~ 15		1
15 ~ 20		2
20 ~ 25		8
25 ~ 30		5
30 ~ 35		3
35 ~ 40		1
計		20

度数が最も多い階級は 20 ~ 25  
 その度数は 8 である。  
 相対度数はその階級の度数 ÷ 度数の合計で求める。  
 よって、 $8 \div 20 = 0.4$

解答

- (1) 33 m            (2) 32 m            (3) 33 m  
 (4) 33.5 m        (5) 26 m            (6) 0.4